

ISE 3.2 MDMコンプライアンスクエリがクライアント抑制とソフトウェア不具合のために失敗する

内容

問題

Cisco Identity Services Engine (ISE)でEAP-TLSを使用して認証されたエンドポイントの中には、Intuneダッシュボードで準拠していると表示されているにもかかわらず、Microsoft Intuneから準拠ステータスを受信しないものがあります。その結果、これらのエンドポイントでは、期待されるポスチャ準拠ポリシーまたはポスチャ非準拠ポリシーではなく、デフォルトのワイヤレス認証ポリシーがヒットします。影響を受けるエンドポイントでは、ISEライブログまたは外部MDMレポートにMobile Device Management(MDM)コンプライアンス属性が表示されず、この問題は導入環境内のクライアントのサブセットにのみ影響します。

確認された具体的な症状は次のとおりです。

- 異常なクライアントには、外部モバイルデバイス管理レポートのISEレポートのログがありません。
- 異常クライアントには、ライブログの詳細にMDM準拠ステータスやデバイス準拠ステータスなどの属性はありません。
- 異常なクライアントは、ポスチャ準拠ポリシーの代わりにワイヤレス802.1x_EAP-TLS_toyotawifi認可ポリシーをヒットします。
- ログに「Failed to connect to MDM Server : 404 Not Found」というエラーメッセージが表示されます。

環境

- Cisco ISEマルチノードクラスタバージョン3.2パッチ6

- クラスタ内の8つのISEノード (すべて緑色のステータスを示す)
- Microsoft Intuneと統合された11,000のワイヤレス/有線クライアント
- クライアントはEAP-TLS (マシン証明書) 認証を使用します
- ISEはIntuneへのクエリにクライアントのMACアドレスを使用します
- Microsoft Intuneダッシュボードで、すべてのクライアントの状態が準拠しています
- 問題が一部のクライアントに影響するが、すべてのクライアントに影響するわけではない

解決方法

この問題は次の手順で解決されました。

ステップ1：根本原因の特定

ISEログの分析により、影響を受けるエンドポイントのMDMサーバIDが古いためにMDMクエリを実行できないことが判明しました。

ログには次のように表示されます。

```
2026-06-15 13:35:14,343 DEBUG [PolicyEngineEvaluationThread-4][[]] cisco.cpm.mdm.util.MDMUtil -:::- M
2026-06-15 13:35:14,343 DEBUG [PolicyEngineEvaluationThread-4][[]] cisco.cpm.mdm.util.MdmServersCache -
2026-06-15 13:35:14,344 ERROR [PolicyEngineEvaluationThread-4][[]] cisco.cpm.mdm.pip.MdmPartnerPIPHandl
```

さらに、この導入がCisco Bug ID CSCwv51917に該当していることが判明しました。これは、MACアドレスの使用時に古いMDMサーバIDが使用されていると、MDMコンプライアンスルックアップに影響します。

ステップ2：一時的な回避策

一時的な回避策として、次の手順を実行します。

1. – コンテキストの可視性からエンドポイントを削除し、再認証します。これは、MDMサーバへのクエリとコンプライアンスステータスの取得の問題を修正するために確認されました。

2.- Context Visibilityに移動します。

3. – エンドポイントのMACアドレスを選択して削除します。

4. – エンドポイントを再認証します。

ステップ3：永続的な解決 – ソフトウェアアップグレード

永続的な解決策は、Cisco Bug ID CSCwv51917で追跡されています。

原因

認証中に、ISEは古いMDMサーバ参照を照会しようとしませんが、対応するMDMサーバオブジェクトが存在しなくなったか、または非アクティブになっています。その結果、ISEはIntuneからMDMコンプライアンス属性を取得しません。

関連コンテンツ

- Cisco Bug ID CSCwv51917[3134](#)
- [ISE 3.2リリースノート – 解決済みの警告](#)
- [ISE 3.2サポート終了通知](#)
- [シスコのテクニカルサポートとダウンロード](#)

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。